

技能検定委員会 九州地区 前運営委員長 宮原 宏視 氏(みやはら ひろし) 瑞宝単光章叙勲



所属先であるホテル日航福岡での記念撮影 左から中橋総料理長、宮原氏、大月総支配人、上野料飲部長

厚生労働省より、4月20日付けで褒章が賜与される旨の閣議決定がされたとの連絡を受け、令和3年4月29日発令の春の叙勲Ⅱ類（労働関係）叙勲にて、技能検定九州地区 宮原宏視前運営委員長が当協会の推薦で瑞宝単光章を受章されました。

宮原氏のこれまでのご功績が受勲の栄誉として広く認められ、今までのご努力に敬意を表しまして心よりお祝いを申し上げます。

先般、勲記・勲章を贈らせていただきましたが、お写真の宮原氏の凛々しくうれしそうなお姿を拝見し、協会といたしましても大変嬉しく思います。

名譽ある受章に今までの豊富なお経験を生かされまして、後進のご指導にご尽力いただきますようお願いいたしますと共に、今後もお体を大切になされましてご活躍されますことを祈念いたしております。



<宮原 宏視 氏 叙勲のコメント>

会員の皆様には日々お健やかに過ごしのことと存じ上げます。

さて 私こと令和3年春の叙勲に際しまして、凶らずも昨年の佐藤和宏 技能検定委員長に引き続き瑞宝単光章を拝受の栄を賜りました。大変、身の引き締まる思いでございます。

今回、九州からの受章となりましたが、思い返せば30年前にHRS個人会員に入会した頃は福岡B.M.C.の事務局長を担当しておりました。その頃の福岡B.M.C.は初代全国B.M.C.会長 橋本 保雄氏はじめ、西鉄グランドホテル 久良野 充 総支配人兼、第2代全国B.M.C.会長が中心となり、福岡に全国B.M.C.やHRSの状況や動きを多方面にわたりご指導頂きました。

技能検定試験の福岡開催は会員の永年の希望でありました。歴代会長が永年にわたりHRS本部との話し合いを重ねられた末、平成18年より全級の実技試験を行えるようになりました。また、翌年の平成19年には福岡B.M.C.が九州B.M.C.に改名し、九州7県より約35社が加盟する組織がまとまり、同時にHRS九州地区の運営基盤も出来上がりました。昨年度のレストランサービス検定試験の受験申請者数は、学科試験が約400名、実技試験が約330名となり年々増加傾向にあります。

そして九州7県より同じ目的を持つ技能検定委員の仲間が参集して試験の運営体制が出来ております。

今回の受章には、この協会の創設時に携われ「業界の発展」「若手育成」の強い目標を挙げられました多くの先輩方、HRS本部の今迄の役員・職員の皆様、そして現在の役員、職員、レストランサービス技能検定の問題作成委員、各地区技能検定委員の方々の代表で受賞させて頂いたものと再認識いたします。

また、HRSの活動にご理解とご支援をいただき、試験会場をご提供いただいているホテル日航福岡の会社役員とスタッフの皆様にも心より感謝申し上げます。

新型コロナがまだまだ終息する気配はなく、ホテル・料飲業界は大変な時期では有りますが、HRSの技能検定試験や各教育セミナーは継続することで多方面からも高く評価されると確信しております。はなはだ略儀では有りますが、時節柄紙面をお借りしまして受章に際しましての御礼を申し上げます。今後の皆様方の益々の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。

